

全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2016年 9月

所属&学年 | 工 学部 2 年生

| | |
|----------|--|
| 科目名 | ウズベキスタン シルクロード文化環境学習 |
| 海外研修先 | ウズベキスタン共和国：世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学 |
| 海外での学習期間 | 2016年8月26日～9月7日 |

1. 履修のきっかけや動機

以前から交換留学に行きたいと考えていたが、海外に行った経験がなかったので短期で行ってみようと思い履修した。NU-OTIの中でも四つのプログラムがあったが、普段あまり名前を聞くことのないウズベキスタンという国とシルクロードの文化に興味を持ち、現地でのフィールドワークという活動も心惹かれるものであったためウズベキスタンでの研修を選んだ。

2. 名古屋と海外での学習で学んだこと

名古屋では主にウズベキスタンの歴史、ウズベク語、ロシア語を学んだ。さらに、フィールドワークの準備として各自のテーマについて調査し、事前報告会を行った。

現地では個人でのフィールドワークと大学での授業を受けた。フィールドワークをするのは初めての経験で、すべてのが勉強だった。具体的には現地学生へのアンケートや博物館等の見学などを行ったが、自分が計画していたようにいかないことも多くあった。しかし、常にアンテナを張り情報を集めたり、帰国後もできる限り文献などの調査を行ったりして、最終的には自分の納得できる結論を見つけることができた。この研修を通して自ら学んでいく姿勢を少しは身に付けられたのではないかと感じている。

また、世界経済外交大学で受けた授業もとても印象に残っている。この授業は簡単なゲームを通して交渉や、相互協力について学ぶものであった。シンプルなゲームであるにもかかわらずとても奥が深く、考えさせられるものばかりであった。机や黒板は使わず活発な発言が中心で進められる授業は、今までに受けたことのないものでありとても刺激的であった。

3. 海外研修中での生活で学んだこと

今回の研修ではウズベキスタンの生活や文化を体験できた。出国前に日本で現地の歴史や生活などについて学んだが、実際には行って体験しなければわからないことばかりであった。日本ではあまり知られていない国ではあるが日本での生活と多くの共通点や相違点があり、とても多くの発見があった。今回の研修で異文化を体験する楽しさを知り、さらに多くの国に行ってみたいという気持ちが強くなった。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

レストランや交通機関では荷物から目を離さないように気を付けた。また、一人で行動することが無いよう、特にバザールや地下鉄では現地の方と一緒にいるように注意した。健康面について、ウズベキスタンの食事は脂っこいものが多かったため、お腹を壊さないために量を多く食べすぎないことと温かいお茶やスープを飲むことが必要だった。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳 | おおよその額 | 備考 | 支払方法 |
|---------------------|-----------|----------------|---------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険 | 127,000 円 | 航空券は 106,660 円 | 振込 |
| 授業料 | 0 円 | | |
| 滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費） | 112,000 円 | | ウズベキスタン事務所へ支払 |
| 各自での食費 | 2,000 円 | = 120,000 スム | 現金 |
| 各自での交通費 | 3,000 円 | = 180,000 スム | 現金 |
| その他（小遣い） | 5,000 円 | = 300,000 スム | 現金 |
| 計 | | 約 25 万円 | |

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 130,000 円 = 1,300 ドル

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい いいえ

↓↓↓

私は夏の期間中にウズベキスタンに行ってきた。渡航が決まった時は、世界の危ないニュースが多く報道されていた時期であったため安全についてとても不安だった。しかし、現地に行ってみると日本と同じように平和でとても暮らしやすい国であった。そんな現地での滞在は、初めての経験や新しい発見ばかりであったが、特に印象的なことの一つとして「夜の散歩」を挙げたい。

今回の研修の日程にはサマルカンドとタシケントにて計二回のホームステイがあった。この二回のホームステイでは、違う都市で違うホストファミリーにお世話になったが、両方とも夕食後の散歩に連れて行ってくれた。サマルカンドとタシケントはどちらも 2000 年以上前から主要な都市として栄えており、多くの歴史的建造物や歴史上の人物のモニュメントなどがある。夕食を外食で済ませた後、少し外を歩くとすぐにこれらの歴史的な名所に行くことができるのだ。さらに、この多くはライトアップされていて、夜であるにもかかわらず多くの観光客、地元の方が見に来ているようだった。下の写真は左がサマルカンドのレジスタン広場、右がタシケントのアムール・ティムール像である。八月の終わりから九月の初め頃は、ウズベキスタンでは夏が終わり少し涼しくなってくる時期で、昼間はまだ暑い日が沈むと気温も下がってとても過ごしやすくなる。ちょうどそのころは少し歩くのに程よい気温であった。夕飯をごちそうになって満腹なお腹、きれいな景色、いい意味で活気のある人々、歩きやすい気温、これらのすべてのおかげでとても穏やかでいい時間であった。

ウズベキスタンは平和で、食べ物もおいしく、人々も気さくで、とても過ごしやすい国であった。これを読んで興味を持った方は是非一度行ってみたい。



全学教養科目特別講義（海外研修）の振り返り報告書

記入 | 2016年 9月

所属&学年 | 教育 学部 3 年生

| | |
|----------|--|
| 科目名 | ウズベキスタン シルクロード文化環境学習 |
| 海外研修先 | ウズベキスタン共和国：世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学 |
| 海外での学習期間 | 2016年8月26日～9月7日 |

1. 履修のきっかけや動機

自身では訪れることが難しい国に行ってみたかったこと。

2. 名古屋と海外での学習で学んだこと

ウズベキスタンが、実際に足を踏み入れて、「スタン系」国家のメディアイメージと裏腹にとっても平和だったこと。

マハッラと呼ばれる町内会みたいな地縁共同体がとても密接に活動しており、現地の人たちの人間的な結びつきが強かったこと。

3. 海外研修中での生活で学んだこと

現地の人たちのホスピタリティの高さ、純朴さ、挨拶の多さなど、現地の方のパーソナリティが一番心に残っている。大きく見習いたい所であった。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

財布を小分けにすること、ワクチン接種すること。ワクチンは自分以外は接種していなかったため、不安が強い方だけでよいと思われる。

食は美味しいが、油の違いから、高確率でお腹を壊すので、胃薬は常備すべき。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳 | おおよその額 | 備考 | 支払方法 |
|---------------------|----------------|-------------|---------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険 | 約 100000 円 | | 振込 |
| 授業料 | 0 円 | | |
| 滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費） | 約 90000 円 | | ウズベキスタン事務所へ支払 |
| 各自での食費 | 600 円 | = 20000 スム | 現金 |
| 各自での交通費 | 900 円 | = 30000 スム | 現金 |
| その他（小遣い） | 20000 円 | = 600000 スム | 現金 |
| 計 | 約 21 万円 | | |

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 約 130000 円 = 1300 ドル

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい いいえ

↓↓↓

各自での食費は現地学生さんなど、ほぼ全ての機会でご覧いただき、最初に払い込んだ額以外(皆で行くレストラン代・ホテル代が含まれる)使っておりません。

全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2016年 9月

所属&学年 | 文学部 2年生

| | |
|----------|--|
| 科目名 | ウズベキスタン シルクロード文化環境学習 |
| 海外研修先 | ウズベキスタン共和国：世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学 |
| 海外での学習期間 | 2016年8月26日～9月7日 |

1. 履修のきっかけや動機

ウズベキスタンという国には、今回の研修でなければ行けないと感じたからです。あまり、馴染みの無い国で、個人の旅行で行こうと思いつ国ではありません。また、研修前は危険な国という印象が強く、一層、個人では行く機会のない国です。そんな、縁遠い国に行ける、という貴重な機会だと思い、履修させて頂きました。また、大学の研修は、今しかできない事がたくさんあります。ホームステイや、天体観測など、個人ではできない経験がたくさんできました。費用の面でも、決して安くはありませんが、費用以上の物が得られたと実感しています。

2. 名古屋と海外での学習で学んだこと

渡航前は、フィールドワークの事前準備をしました。私はイスラム圏の装飾文様についてフィールドワークしました。事前準備では、文献からイスラム圏を代表する文様のアラベスクには大きく三種類あることや、文様の意味などを知りました。授業の中で発表し、研修メンバーや仲間からアドバイスを頂き、徐々に研究を深めていけたと思います。また、授業外でも、先生方に個人面接をして頂いたり、メールでアドバイスを頂いたりしました。ウズベキスタンではホームステイや、大学の講義、天文台の視察、文化体験、遺跡の視察など、とても貴重な経験をさせて頂きました。また、現地でのフィールドワークでは現地の学生さんが全面的にサポートして下さり、美術館や、博物館に連れて行って頂きました。実際に見た文様は小物から建築まで幅広く用いられていました。日本とは全く異なる伝統模様を観察する事が出来ました。さらに、人々の文様への認識も私が想像していたものとは異なり、偶像を用いた装飾に寛容な方もみえました。新たな発見を得られたフィールドワークでした。

3. 海外研修中での生活で学んだこと

いい意味での「甘え」を学べたと思います。今回の研修メンバーはとても仲が良く、お互いに助け合える仲です。私は人に甘えることが苦手でしたが、研修メンバーにはたくさん甘えてしまったと思います。それでも皆、支えてくれました。また、ホームステイ先のご家族が私を本当の家族のようにかわいがってくれました。日本では考えられないくらい、私を受け入れ、もてなして下さいました。こちらに気を使わせないようなさりげない気遣いで、私も実家のようにくつろぐことができました。ウズベキスタンの家族は私の理想の家族です。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

ウズベキスタンは危ない国ではなく、とても平和で美しい国だと気が付きました。ですが、食文化だけはかけ離れすぎているので、お腹を壊すことは避けられませんでした。また、自分が気づいていなくても疲れがたまっているので、帰国後もしばらくはゆっくり休んで様子を見た方がいいと思います。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳 | おおよその額 | 備考 | 支払方法 | |
|---------------------|--------|-------------|---------------|--|
| 航空運賃 & ビザ、海外旅行保険 | 13万円 | | 振込 | |
| 授業料 | 0円 | | | |
| 滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費） | 8万円 | | ウズベキスタン事務所へ支払 | |
| 各自での食費 | 5千円 | = 30万 スム | 現金 | |
| 各自での交通費 | 千円 | = 6万 スム | | |
| その他（小遣い） | 1万五千円 | = 90万 スム | 現金 | |
| 計 | | | 約25万円 | |

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 10万円 = 千 ドル

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい

↓↓↓

ぜひ大学生のこの機会にウズベキスタンに行ってください。とても楽しいですよ！



全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2016年 9月

所属 & 学年 | 情報文化学部 2年生

| | |
|----------|---|
| 科目名 | ウズベキスタン シルクロード文化環境学習 |
| 海外研修先 | ウズベキスタン共和国：世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立立法科大学 |
| 海外での学習期間 | 2016年8月26日～9月7日 |

1. 履修のきっかけや動機

単なる数日間の旅行は大人になってからでも可能だけど、2週間の留学は大学生の今しかできない上に、履修を決めた当時の私は、ウズベキスタンという危険なイメージがある異国の地へは旅行ですらも難しいと思い、学校のプログラムで行く意義を大いに感じたため、履修を決断しました。留学にかかる全費用が20万ほどと安かったというのも決めてとなった大きな理由のひとつです。

2. 名古屋と海外での学習で学んだこと

1. 名古屋での渡航前の授業で何を学んだか

フィールドワークといった何かあるひとつの研究を進めること自体が初めてだったのですが、テーマ設定の方法や先行研究を調べることの意義、フィールドワークをする上での具体的な留意点など多くのことを丁寧に教えてくださる機会があったので、大きくつまづくことなく自分の研究を進めることができました。今後の卒論に向けても大変参考になる良い経験ができました。

2. 海外での学習で何を学んだか

ウズベキスタンの方々の心のやさしさを学びました。現地での調査では付き添っていただけだけでなく、研究の成果につながる場所の提案や、お話しをしてくださいますて、おかげさまで、トラブルなくとても充実した調査をすることができました。帰国後も、Facebook や LINE での質問に快く応じてくださりお世話になりました。フィールドワークは、自分ひとりだけでは、進めることは難しく、多くの人の協力を得てとても良い成果物になるのだと実感しました。感謝の気持ちを忘れずに取りくまなければなりません。

3. 海外研修中での生活で学んだこと

食生活について、すべてが珍しいものであるし、気をつかう相手との食事が多いということもあり、出されたものを全部食べたくなるのだが、思い切って残すのも大事である。おなかに自信のない人は、全部食べるようにしているといつかは何も食べたくなくなるほど苦しくなってしまう、食べてみたいものが出た時のせっかくの機会を逃してしまうかもしれない。味見程度につまんでいき腹9分目くらいにとどめておくのが良い食べ方かもしれない、と感じた。それから、油もののごはんにはあったかいお茶は本当に効いていると感じた。

最後にとても重要なことを記します。“**変圧器**”と“**変換プラグ**”は別物です。コンセントプラグ関連の製品を購入したら、説明書などをよく読み、必要なものがしっかりと足りているかを確認しましょう！私はこのことを渡航先で知り、変換プラグしかなかったために、ドライヤーなどをしようすることができませんでした。ちなみに iPhone などの充電器は変圧器が備えられているため変換プラグのみで使用することが可能です。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

幸いにもウズベキスタンはとても治安のよい国で、トラブルは一切ありませんでした。荷物の管理に関して言えば、地元の方々も、レストランなどでも荷物を置いたまま席を平気で離れていたほどではあるが、特殊なことであったのだと考えて、今後別の国や地域に渡航する際は荷物の管理などには十分気をつけたいです。健康面に関しては、食生活と体力面で無茶をしてしまった結果、調子が悪くなるということがありました。同行する日本人の先生方や仲間たちがいたので助かったが、そうでない場合は不便なことが多かったと思うので、無茶をしすぎないようにしたいです。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳 | おおよその額 | 備考 | 支払方法 |
|---------------------|--------------|--|---------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険 | 11万円 | | 振込 |
| 授業料 | 0円 | | |
| 滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費） | 9万7800円 | = 890ドル | ウズベキスタン事務所へ支払 |
| 各自での食費 | 10000円 | = 6万スムぐらい (Ex.水500ml 1000スム) | 現金のみ、カード0円 |
| 各自での交通費 | 5000円 | = 3万 スムぐらい (Ex.タクシー1回2000スム) | 現金 |
| その他（小遣い） | 2万円 | = 200ドル 病院代 計51万4200スム を払ってもとても余ります。 | 現金 2万円、カード 0円 |
| 計 | 約22万円 | | |

※現地通貨はいくら持参しましたか？ 11万1180円 = 1090ドル

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい いいえ

↓↓↓



飛ぶな！キケン！

それから、ここ、シャーヒズィンダ群廟は、サマルカンド・タシケントの中でも抜群にきれいなので、



写真はたくさん撮っておくとよいと思います。

わたしはあまりの美しさに魅了されて多くを撮り忘れました。ちょっと悔しい思いをしています。

ウズベキスタンの民族衣装を着てみたときの写真です。



お土産屋さんに行くところのように着させていただけるので、機会があれば二度とない機会だと思って着てみるとよいかと思います！

日本ではまったく見かけないものがたくさんあります。何事もチャレンジ！どんなこともよい経験になりますでしょう。成功でも、たとえ失敗でも話のタネになりますしね(。-`ω-)

全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2016年 9月

所属&学年 | 理学部 1年生

| | |
|----------|--|
| 科目名 | ウズベキスタン シルクロード文化環境学習 |
| 海外研修先 | ウズベキスタン共和国：世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学 |
| 海外での学習期間 | 2016年8月26日～9月7日 |

1. 履修のきっかけや動機

私は海外へ行ったことがなく、大学生になったら絶対に海外へ行きたいと思っていました。それも、できるだけ大学生の内でないといけないような国に行きたいと考えていました。しかしやはり初めての海外となると、治安や衛生面での不安は大きかったです。そんなとき名古屋大学の海外研修プログラムでウズベキスタンに行けることを知り、このチャンスを逃すまい、と応募しました。理系の学生は3、4年になると忙しくなりますから、やりたいと思っていることは1、2年の内にとことんやっておくべし、との考えから、1年生の夏という早い時期から研修に参加する決断をしました。

2. 名古屋と海外での学習で学んだこと

渡航前に事前調査として各自が設定したテーマに関し文献などから調査を行い、参加者が各々の調査結果や現地での調査計画等に関して意見を交換し合う機会がありました。その際も、一人では気づき得なかった新たな視点や考え方を獲得することができ、現地での限られた調査結果から多角的な分析ができるようになりました。

現地では各自の調査テーマに基づきフィールドワークを行いました。つたない英語で現地学生と会話し、全く知らない街を歩き回って調査をすることは日本ではまずできない経験でしょう。

現地大学の講義に参加させていただく機会もあり、現地学生たちと英語でディベートを行ったのですが、思ったことをうまく伝えられないもどかしさを強く感じ、改めて語学力の習得の必要性を認識しました。しかし、私の英語がつたないながらも、現地の学生さんたちは熱心に私の言葉に耳を傾けてくれました。本当のコミュニケーションは、相手の言うことを理解することでなく、「理解しようとする」ということなのだ、と気づかされました。

大学での学業も、社会出でてからの仕事も、あらかじめこうすれば良いという風にマニュアル化されたものでなく、自分の頭で考え、行動していかなければならないことは多々あるかと思います。今回の研修では、そんな状況下に置かれたときに必ず役に立つスキルを身につけられたと思います。

3. 海外研修中での生活で学んだこと

私たちは「日本人」とか「ウズベク人」というように人種を区別しがちですが、実際にはそんなものはただの概念に過ぎないと感じました。確かに言葉が少し通じにくい、そういった障害はありましたが、そこを乗り越えればもう「日本人」とか「ウズベク人」ではなく、私たちはみな同じ「人間」だということに気づきました。面白いと思うことはみんな面白いし、楽しいことはみんな楽しいのです。日本にいるとどうしても海外からの旅行者などに距離感を感じがちですが、そんなものは感じなくなりました。それと同時に、今も世界中で戦争が繰り返されてい

ますが、どうして同じ人間同士でいがみあうのか、手を取り合うことができないのか、と、戦争に対する憤りを感じずにはられません。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

体に合わない料理を食べることになるので市販の胃腸薬を持ち込みましたが、それでもお腹の調子は悪くなりました。私は日本から食べ物を持って行くことはしませんでした。お腹の調子が悪いとき、食べ慣れた日本の食べ物（例えば好きなお菓子とかジュースなど）があれば、どれだけ気持ちが楽になったろう、と感じました。特に初めて海外に行く人は、初めてのものだらけなので、自分で認識している以上のストレスが溜まり、それが体調の悪化を引き起こすケースが多いかと思われます。食べ物に限った話ではありませんが、日本のものがあるという安心感が大きいのも事実です。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳 | おおよその額 | 備考 | 支払方法 |
|---------------------|-----------------------------|----------------|-------------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険 | 航空券約10万円 ビザ、海外旅行保険計で約2万円 | | 振込 |
| 授業料 | 0円 | | |
| 滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費） | 886ドル | | ウズベキスタン事務所へ 支払 |
| 各自での食費 | 約2000円 | = 約60000ス ム | 現金 |
| 各自での交通費 | 約2000円 | = 約60000ス ム | 現金 |
| その他（小遣い） | 約2万円 | = 約90000 スム | 現金 |
| 計 | 約22万円 | | |

※現地通貨はいくら持参しましたか？ _____ 30000 円 = 約300 ドル

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい いいえ

↓↓↓

留学に興味を持っている方は大勢いらっしゃるのではないかと思います。でもいきなり半年とかの留学はちょっと・・・.とっているのではありませんか？私もそうでした。そんな方には、私が今回参加したような短期研修に参加することを強くおすすめします。2週間という短い間でしたが、語学力やコミュニケーション力など、自分の得意なこと、あるいは足りない能力などにじっくりと向き合うことができた、非常に有意義な2週間でした。また、今回の研修での出会いは一生ものです。現地の学生さんたちとは、今でも Facebook などを通して連絡を取り合っています。みなさんにも、研修を通した素敵な出会いが待っていますことを、心よりお祈りいたします。

全学教養科目特別講義（海外研修）のふり返し報告書

記入 | 2016年 10月

所属&学年 | 医学部 1年生

| | |
|----------|--|
| 科目名 | ウズベキスタン シルクロード文化環境学習 |
| 海外研修先 | ウズベキスタン共和国：世界経済外交大学、サマルカンド国立大学、タシケント国立法科大学 |
| 海外での学習期間 | 2016年8月26日～9月7日 |

1. 履修のきっかけや動機

私が履修を希望した一番のきっかけは、ウズベキスタンという国に魅せられたからです。また、私は医学生であり将来的には国際医療や地域医療にも携わっていこうと考えているので、実際にウズベキスタンの病院へ足を運ぶことにより、ウズベキスタンという中央アジアにおける医療がどのようなものか学んでみたいとも思ったことも動機の一つです。

2. 名古屋と海外での学習で学んだこと

私は、現地でのフィールドワークの一環として、ウズベキスタンの国立病院や私立病院を見学させていただきました。私が国立病院を見学していて真っ先に思ったことは、医師の数に対して、とても多くの患者さんがいるということです。ウズベキスタンでは病気を患った場合、私立病院ではなくまず国立病院に行く人が大勢いるということがわかりました。そのため、国立病院では医師に対する患者の人数が多く、患者一人が医師による問診を受けるまでに、とてもたくさんの間待たなければならないということを知りました。また、ウズベキスタンの国立病院では、診察を受ける場所、レントゲンを撮る場所、薬をもらう場所がとても離れているということを学びました。そのため、患者一人一人の負担は、日本に比べると大きいのではないかと感じました。

私立病院を訪れた際の印象は、国立病院とは打って変わりとても綺麗であると思いました。私立病院では、問診から検査、処方まで全て一つの病院で行われるということを知りました。

3. 海外研修中での生活で学んだこと

私がウズベキスタンに行って真っ先に感じたことは、日本とのスケールの違いです。具体的には、現地の高速度鉄道であるアフラシャブ号に乗っていた時のことです。景色を眺めていると、木の生えていない大きな山に描かれた大きなデザインが見えてきたので、現地の先生にあの模様は何ですかと尋ねました。すると、先生は、あれは模様ではなく広告であるということをお教えくださいました。日本では、広告というと、どうしても紙に描かれたものを想像してしまうので、全く別の系統の広告を生で目にして、とても感動しました。

また、私が最も印象に残っていることは、ウズベキスタンの交通事情です。具体的には、日本とは異なり、歩行者ではなく車優先の社会であるということです。私たちが現地でも横断歩道を渡っている時に、歩行者信号が赤になってしまいました。次の瞬間対向する自動車もものすごいスピードで私たちの前を通過していきました。日本では味わうことができない、とても驚いた出来事でした。

4. 渡航や危機管理について気を付けたこと、気づいたこと

現地の食事は日本と比べるとかなり油っぽいものが多いので、食事の際はいつも温かいお茶をもらうようにしてい

ました。また、現地の水道水は飲まないようにしました。特に私は、日本から8リットルの水を持って行きました。

5. 海外研修費用（さしつかえなければおおよその金額を教えてください）

| 内訳 | おおよその額 | 備考 | 支払方法 |
|---------------------|----------|-------------|-------------------|
| 航空運賃&ビザ、海外旅行保険 | 117630 円 | | 振込 |
| 授業料 | 0 円 | | |
| 滞在費（宿泊費・食費・交通費・通信費） | 89000 円 | | ウズベキスタン事務所へ支払 |
| 各自での食費 | 2000 円 | = 60000 スム | 現金 2000 円、カード 0 円 |
| 各自での交通費 | 50 円 | = 1500 スム | |
| その他（小遣い） | 20000 円 | = 600000 スム | 現金 2 万円、カード 0 円 |
| 計 | | | 約 22 万円 |

※現地通貨はいくら持参しましたか？ _____ 120000 円 = 1200 ドル

自由記述欄 *後輩へおすすめしたい情報やエピソードなど自由に記述して下さい。写真添付も歓迎します。

※写真を「写真でつづる留学ストーリー」に応募してもよろしいですか？ はい

↓↓↓

- ・バザールで絨毯売りのお婆さんが、なかなかしぶとく絨毯の購入を催促してきた...
- ・サマルカンドーシャフリサーブス間の道路の真ん中に牛が出現し、バスが全力でそれを避けた

